

## 第4回 地方公共団体金融機構の業務の在り方に関する検討会 議事概要

1 日時 平成29年11月16日(木) 15時00～15時30分

2 場所 合同庁舎2号館6階 601会議室

3 出席者 堀場会長、植木委員、鎌田委員、中村委員、宗田委員、  
小西委員、鈴木委員、勢一委員、阿部委員、富岡委員、  
汐見委員

### 4 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

報告書案について

(3) 閉会

### 5 議事の経過

○ 事務局より当検討会における意見、報告書(案)について説明をし、以下の討議を行った。

(以下、討議)

○ 検討会の報告書においては、地方団体の意見も尊重し、機構の現行の枠組みを維持していくという方向性が得られた。

○ 公営企業金融公庫時の厳しい議論の時代を経て、機構が地方公共団体における共助の役割を果たしているわけだが、検討会においてもポジティブな評価が多かったと受け取っている。

○ 機構においては、今回出た議論を十分に踏まえ、様々な地方のサポートという点においても引き続き充実を図って欲しい。

- 総務省においては、今回の報告書の内容を十分に踏まえた対応をして欲しい。
- 今まで、機構は地方公共団体の財政運営に重要な役割を果たしてきた。特に、資金の共同調達機関という役割は大きく、とりわけ資金調達能力が乏しい団体において、大きな役割を果たしてきた。
- 市中銀行では厳しい長期・低利の資金供給について、引き続き機構にしっかりと支援をして欲しい。
- 資金面での支援が機構の主な役割だが、単に市場動向だけでなく地方公共団体の政策ニーズを踏まえ、どのような資金の支援ができるのかということの研究するシンクタンクのような機能を強化すべき。

以上